

前も後ろもKENWOODの高画質!

2カメラ・ドライブレコーダー の真打ち登場!

あおり運転対策のために、後方カメラを求める声が増中。ケンウッドはそんな要望にしっかり対応し、前後ともに高解像度で撮影できるモデルを発売! その高い機能性を知れば、誰もがすぐに欲しくなる!!

文/富山英三郎



原寸

●メインユニット



●2ndカメラ

DRV-MR740

オープン価格(実勢3万4000円前後)

後方撮影用カメラを搭載した2カメ・ドライブレコーダー。前後ともにフルハイビジョン撮影することができる。また、2.7型TFT液晶モニターでは、前後のカメラを切り替えながら計4パターンの表示が可能。そのほか、安心・安全のドライブをサポートする「運転支援機能」や、万が一の事故の際に一律4万円が支払われる「交通事故時ドライブレコーダー買替保証金制度」も装備されている。



F1.8の明るいレンズで後方の映像もくっきり記録

DRV-MR740 (前)

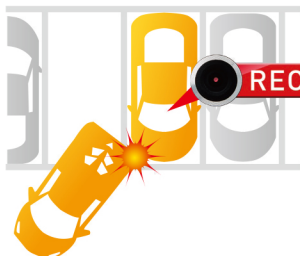
DRV-MR740 (後)

2カメラだから長期間録画に最適

microSDHCメモリーカード
KNA-SD32A
オープン価格(実勢8600円前後)

microSDカードは消耗品。録画による書き換えでエラーが起きやすくなるが、KENWOODのSDカードは一般的なmicroSDカードに比べて、約100倍長持ちする耐久性の高いpSLC方式を採用。もしもの時の録画にも安心して使用できる。

業界最長24時間駐車監視録画に対応



別売りの車載用電源ケーブル「CA-DR150」を使用することで、最長24時間の駐車監視録画が可能。衝撃検知と動体検知に対応しており、メインユニットで検知をした瞬間から前5秒、後5秒の駐車録画をおこなう。なお、駐車している状態と判断されるのはエンジンを切った後5分後から。

フルハイビジョン高画質

前後ともにデジタル放送と同じ、1920×1080のフルハイビジョンカメラを採用。F1.8の明るいレンズを搭載しているので、美しい画質で撮影でき、クルマのナンバープレートなどの細かい文字情報まで鮮明に映し出すことができる。なお、解像度を720pに下げても常時録画時間を伸ばすことも可能。

また、ドライブレコーダーが発する微弱な電磁波による地デジやAMラジオへの電波干渉も解決済み。ノイズを気にすることなく、ドライブに集中することができる。さらに、専用アプリを使えばパソコン上で前後の走行映像を同時再生することも可能。ケンウッド初の2カメラタイプながら、全部盛りの頼れるモデルとなっている。年末年始で何かと外出の多い季節、自己防衛のためにも2カメラ・ドライブレコーダーは必ず設置しておきたいもの。選ぶなら高画質で撮影ができ、機能も充実しているケンウッドにすべし。

高画質で機能は全部盛り
自己防衛に欠かせない一台

ニュースで繰り返し流される、モラルの低いドライバーによるあおり運転の恐怖。死亡事故も起きている危険な行為だ。日本でドライブレコーダーが普及したのは、2012年に祇園で起きた軽自動車暴走事故と言われているが、最近はおとり運転対策のために「後方にもカメラが欲しい!」という切実な要望が急増。そこで、ケンウッドでは前後ともにフルハイビジョンで撮影できる2カメラ・ドライブレコーダーを新発売した。通常、2台のドライブレコーダーを同時に動かすと、動画処理スピードおよび熱対策の影響で本体は大きくなりがち。しかし、ケンウッドの高い技術力により、ルームミラーの裏側に隠れるほどコンパクトな設計を実現した。